



ふうの木のある学校からⅡ

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 7月号 文責 校長

宿泊学習

青島少年自然の家に、6月26日(木)・27日(金)、5年生を引率してきました。

5年生になって、約3か月。

- ① 「規律・協同・友愛・奉仕」を理解し、実行できるか？
- ② 家庭・学校との生活の違いに気付き、自ら考えて、行動できるか？
- ③ 学習の成果や課題を、今後の言動に活かすことができるか？

集団宿泊的な行事においては、この3つの視点が必要だと考えています。

5年後・10年後、子どもたちは、一定のきまりやマナーを理解し、時・場所・目的に応じた態度や言動をとっていくことが求められます。

成果としては、集合時刻を守ったり、あいさつをしたり、チーム内で励まし合い、気付いたプラゴミを拾ったりするよさ等を発揮することができました。

課題としては、セルフバイキングや入浴時のマナーや、就寝時刻になっても眠れない(寝ない?)、集合はしているが騒がしい、次に何をするのかを「しおり」等を見ずに、聞きに来るといったことが挙げられます。

事前指導、その場での賞賛・指摘・注意も行っていますが、大切なのは3つ目の視点です。

「同じような指摘や注意をされなくなった」
『ありがとう』や、思いやりのある言葉を使うようになった
「ねばり強くなった、がまん強くなった」
といった変容の姿が学校や家庭で見られ、共有できることを期待しています。

Ⅰ 学期終業

授業日数は、72日(1年生は68日)。

子どもたちは、どれくらい「できた」「わかった」を増やすことができたでしょうか？

6月27日(金)に梅雨明けが宣言されましたが、これからしばらくは暑さが続きます。

「ずっと冷房の中での夏休み」も、体にとってはよくありません。朝方や夕方の涼しい時間帯を中心に、ラジオ体操やウォーキングをするなど、一定の暑さには耐えられる体づくりをしておきましょう。

39日間の夏休み。

学習・生活・安全について、事前の指導は行っています。

子どもたちの行動範囲は、家庭や地域が中心になると思いますし、仕事で保護者が不在となってしまうことも想定されます。

子どもたちだけで、きまりやマナー、家庭での約束を守ったり、お手伝いやボランティア活動を経験できたりする貴重な機会でもあります。

学校からのきまりをもとに話し合ったり、我が子にはどんなお手伝いができるのかを探ってみたり、町や地区のイベント情報等もチェックしてみたりされるとよいかもしれません。

今の学年の、この夏休みは、この時だけです。

「こう言ってたのに・・・」

「あの時、こうしておけばよかった・・・」

と、言いたくない(言わせたくない)ですね。

教育基本法第10条(家庭教育)と、石井十次先生の「子は云う様にはせずして、するようにするものなり」を手掛かりに、子どもたちの自立心を育てる夏休みにしてください。

8時10分前に集合

時計の学習だったら「7時50分に集合」ですが、最近はちょっと変わってきているようです。

それは、
「8時10分になる前に集合」という意味にとらえて行動する若者が増加傾向にあるという話題です。(ネットニュースから)

7時50分ぐらいか？ 8時7～9分か？

集合時間をを伝えた方と、伝えられた方の解釈の違いで、およそ20分程度のタイムラグが生じることも起こります。

「8時10分前に集合」という表現じゃなくて、「7時50分に集合」と言えば伝わるのかな？

皆さんは、どう思いますか？

インタビュー

4年生が壁新聞を作成するために、校長室へやってきました。

好きな食べ物は？給食は？
どんな仕事をしているの？
休みの日は何をしているの？
趣味は？好きな教科は？なぜ？

学級の新聞に掲載されるのですから、適切なことは言えません。何とかまじめに答えました。

考えておいた質問が終わったようなので、

「ほかに聞きたいことはないですか？」

と問い返すと、年齢を聞いてきました。

「〇〇歳です。」

と、正直に答えました。

「えっ！わか（若）っ！」

「●●くらいかと思ってた」

というリアクションが返ってきました。

運をつかむために

大谷翔平さん、今年も大活躍ですね。

彼が「運」をつかむために立てていた目標があります。高校1年生のときに立てた目標達成表の中から抜き出してみます。

- ア あいさつをする
- イ ごみ拾いをする
- ウ そうじをする
- エ 道具を大切に使う
- オ プラス思考でいる
- カ 本を読む
- キ 審判さんへ誠実な態度をとる
- ク 応援される人間になる

というものです。

(学校経営マンドラートで創る新しいカリキュラム・マネジメント) より

その他「人間性」「メンタル」「体づくり」等についても、より具体的な目標や手立てを考え、実践しています。

見てみると、私たちにだってできる手立てもあります。

「コツや心掛け」が違うのでしょうか？

中学校、民生委員との意見交換

7月2日日(水)に、西中学校の先生方や民生委員の方々に授業参観をしていただき、子どもたちの様子や学校での取組等について意見交換をしました。

中学校では、時間を意識して行動させるために「ノーチャイム」で生活させていることや、民生委員さんからは、地域での子どもたちの様子(あいさつ、自転車運転等)について、情報やご指摘をいただきました。

中学校とは、随時連絡・連携をしていますが、民生委員さんとは、年1回の貴重な機会です。

今後、参観日等の行事の折には、子どもたちの様子を見に来ていただけないか等を検討しています。

お住まいの地域のことで、困っていることや、分からないことはありませんでしたら、民生委員さん(守秘義務のある組織の方々)に相談するのも、選択肢のひとつです。